

令和3年度 学校図書館基本計画

33 足立区立島根小学校 校長 渡辺 円

1 学校教育目標

- ① 考える子：様々な問題を解決するために多様な考えをもてる子
- ② 心豊かな子：よりよい生活を目指して相手を尊重し、助け合う子
- ③ たくましい子：困難に直面してもあきらめず、より高い目標に向かい努力し続ける心と体をもつ子

2 学校図書館の目標・ねらい 一身に付けさせたい資質・能力、意欲・態度一

- ① 児童の読書に対する意欲を盛んにし、豊かな心情と幅広い知識を身に付けさせる。
- ② 多様な資料から目的に応じた情報を選んで課題解決する能力を伸ばす。
- ③ 様々な取り組みを通して本の楽しさに触れ、日常的に本に親しむ態度を養う。
- ④ 学校図書館及び校内の図書に関わる環境を整え、児童の読書に対する意欲を高める。

3 学校図書館の現状（昨年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 12538 冊 （蔵書基準冊 10458 冊）／ 蔵書率 119%（前年 117%）									
	② 新規購入図書 702 冊 ／ 廃棄図書 214 冊 ／ 増減冊 488 冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学8類
①蔵書構成割合	2.2%	1.13%	7.49%	5.88%	14.25%	4.62%	4.49%	7.75%	2.66%	49.5%
*国基準	6%	2%	18%	9%	15%	6%	5%	9%	4%	26%
利活用の状況	① 開館時間：授業時、月～金の中休み・昼休み（前年度からの変更 <u>あり</u> ・なし）									
	② 児童一人あたりの年間平均貸出冊数 36 冊（前年度： 62 冊）									
	③ 1か月に2冊以上読む児童 86%（前年度： 100%）									

4 目標達成に向けた今年度の重点指導事項・具体的取り組み

第1学年	① 読みやすい読み物に興味を持ち、楽しんで読書しようとする意欲を育てる。	
	② 学校図書館の利用の仕方を知り、きまりを守って利用する態度を育てる。	
今年度の成果目標		達成基準
① 学校図書館を使う授業により、本を手にする機会が増える。		① 各クラス月2回以上、読書等の授業を学校図書館で行う。
② 学校図書館の本を利用し、読書をする経験を重ねる。		② 読書旬間等を利用して、年間一人あたり100冊以上の本を読む。
③ 学校図書館の利用の仕方について知る。		③ 学校図書館オリエンテーションを実施した学級100%
第2学年	① いろいろな読み物に興味を持ち、楽しんで読書しようとする意欲を育てる。	
	② 学校図書館の利用の仕方を知り、きまりを守って利用しようとする態度を育てる。	
今年度の成果目標		達成基準
① 学校図書館の利用の仕方を守りながら、自分の興味のある本を探して、読書することができる。		① 各クラス月2回以上、読書等の授業を学校図書館で行う。
② 図鑑や科学的な読み物について読書し、その内容を友達に伝えることができる。		② 読書旬間等を利用して、年間一人あたり100冊以上の本を読む。
第3学年	① いろいろな読み物に興味を持ち、幅広く読書しようとする意欲を育てる。	
	② きまりを守り、進んで学校図書館を利用する態度を養い、資料や情報を集めて活用できる力を育てる。	
今年度の成果目標		達成基準
① 学校図書館の利用の仕方を守りながら、色々な読み物に興味を持ち読書することができる。		① 読書旬間を利用して、年間一人あたり50冊以上の本を読む。
② 辞典や図鑑等から分かったことをまとめることができる。		② 各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。

第4学年	① いろいろな読み物に興味を持ち、幅広く読書しようとする意欲を育てる。 ② きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、多様な資料や情報を収集・活用することができるようにする。
今年度の成果目標	達成基準
① 学校図書館の利用の仕方を守りながら、読書ができる。 ② 自分の興味のある本だけでなく、今まで興味のなかった本についても読書することができる。 ③ 辞典や図鑑等から分かったことをまとめ、説明することができる。	① 各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 読書旬間を利用して、年間一人あたり50冊以上の本を読む。 ③ 調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が10%以上
第5学年	① 適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする意欲を育てる。 ② きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、計画的に資料や情報を収集し、適切に活用することができるようにする。
今年度の成果目標	達成基準
① 学校図書館の利用の仕方について、より利用しやすい方法について考えることができる。 ② 興味のある事柄について、適切な本や新聞等を選び、読書することができる。 ③ 複数の本や新聞等から分かったことをまとめることができる。	① 各クラス月1回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 年間一人あたり30冊以上の本を読む。 ③ 調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が20%以上
第6学年	① 適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする態度を育てる。 ② きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、計画的に資料や情報を収集し、適切に活用することができるようにする。
今年度の成果目標	達成基準
① 学校図書館の利用の仕方について、より利用しやすい方法について考え、友達に伝えることができる。 ② 興味のある事柄について、適切な本や新聞等を選び、読書することができる。 ③ 複数の本や新聞等から分かったことをまとめ、説明することができる。	① 各クラス月1回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 年間一人あたり30冊以上の本を読む。 ③ 調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が30%以上

5 学校図書館環境整備に関する取り組み計画・方針

【蔵書・配架等に関すること】

- ① 既存の寄贈本や新規購入図書の受け入れ、登録作業を10月中に完了させる。
- ② 図書委員会の活動の一環として教職員のおすすめの本を掲示し紹介する。
- ③ 廃棄図書を早期に確定させ、蔵書構成を念頭においた新規図書購入計画を作成する。

【学校図書館支援員との連携・協働】

- ① 学校図書館オリエンテーションの実施やブックトーク等、支援員の積極的な連携・協働に取り組む。
- ② 調べ学習をはじめ、授業に必要な教材や資料について積極的に支援員への相談や情報交換を行う。
- ③ 学校図書館支援員やボランティアとの連携を深め、明るく楽しい学校図書館づくりを実践する。

【その他】

- ① 長期休業中の貸し出し冊数を一人5冊までを可とする。
- ② 夏休み中の7月最終日に学校図書館を児童に開放し貸し出しを行う。